

BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-327990
 (43)Date of publication of application : 10.12.1993

(51)Int.CI.

H04N 1/00
 H04L 1/00
 H04M 1/27
 H04M 1/56
 H04M 11/00
 H04N 1/32

(21)Application number : 04-130243

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 22.05.1992

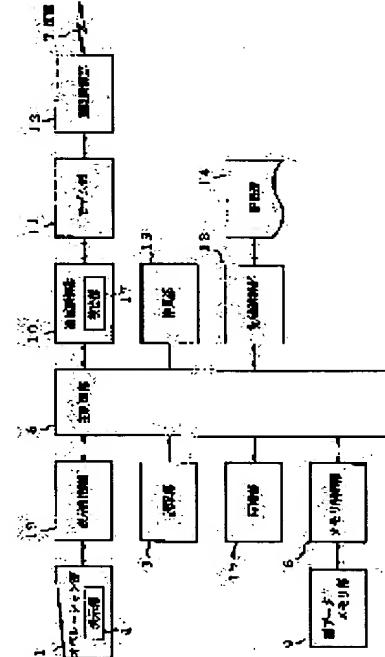
(72)Inventor : KOMINE JUNKO
 UEDA MASARU

(54) FACSIMILE DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve reliability by providing respective means for detecting, recording controlling and display controlling the error of the dialed called party number and informing the case of the error of the number of the called party and deleting or changing of the error.

CONSTITUTION: Dial data are inputted by an operation part 1 and dialing is started through a display control part 19 and a main control part 6 at a communication control part 10. A detection part 17 inside the communication control part 10 detects that the called party number is the error from a signal transmitted by hooking a receiver on at the called party side immediately after hook-off. The detection part 17 informs the error of the called party number through the main control part 6 of a recording control part 18 and the display control part 19 and the recording control part 18 makes a recording part 14 record and output the error of the called party number. Also, the display control part 19 makes the recording part 14 display the error of the called party number and the automatic deletion or the change of the error. Thus, the error for the second time and untransmission are prevented and the reliability can be improved.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 31.08.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 28.08.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-327990

(43)公開日 平成5年(1993)12月10日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
H 04 N 1/00	1 0 6 B	7046-5C		
H 04 L 1/00		A 6942-5K		
H 04 M 1/27		7190-5K		
1/56		7190-5K		
11/00	3 0 3	8627-5K		

審査請求 未請求 請求項の数3(全11頁) 最終頁に続く

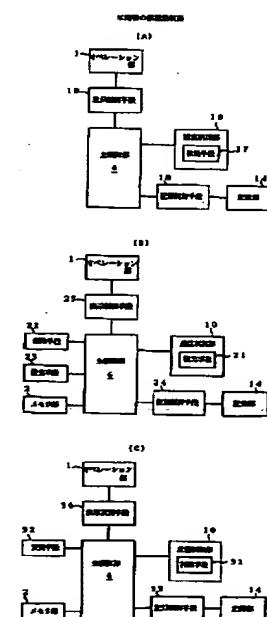
(21)出願番号	特願平4-130243	(71)出願人	000005223 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地
(22)出願日	平成4年(1992)5月22日	(72)発明者	小峰 順子 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
		(72)発明者	上田 優 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
		(74)代理人	弁理士 宮内 佐一郎 (外1名)

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 相手先番号誤り時の通知、削除、または変更を行うファクシミリ装置に関し、信頼性を向上させる。

【構成】 相手先番号が誤っていることを検出する検出手段17と、相手先番号が誤っていることを記録制御する記録制御手段18と、相手先番号が誤っていることを表示制御する表示制御手段19を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】データの入力および表示を行うオペレーション部(1)と、通信制御を行う通信制御部(10)と、データの記録を行う記録部(14)を有するファクシミリ装置において、相手先番号が誤っていることを検出する検出手段(17)と、相手先番号が誤っていることを記録制御する記録制御手段(18)と、相手先番号が誤っていることを表示制御する表示制御手段(19)を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】データの入力および表示を行うオペレーション部(1)と、通信制御を行う通信制御部(10)と、データの記録を行う記録部(14)と、短縮番号に対応するダイヤルデータを記憶しておくメモリ部(2)を有するファクシミリ装置において、短縮番号によるダイヤル入力したとき、相手先番号が誤っていることを検出する検出手段(21)と、前記メモリ部(2)に記憶されている誤りのダイヤルデータを削除する削除手段(22)と、削除したことを示すデータを前記メモリ部(2)にセットする設定手段(23)と、相手先番号が誤りであることと削除したことを記録制御する記録制御手段(24)と、相手先番号が誤りであることを削除したことを示すデータを表示制御する表示制御手段(25)を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】データの入力および表示を行うオペレーション部(1)と、通信制御を行う通信制御部(10)と、データの記録を行う記録部(14)と、短縮番号に対応するダイヤルデータを記憶しておくメモリ部(2)を有するファクシミリ装置において、

短縮番号によるダイヤル入力でISDN回線を使用したとき、相手先番号の変更を判別する判別手段(31)と、前記メモリ部(2)に記憶されている誤りのダイヤルデータを変更する変更手段(32)と、相手先番号が誤っていることと短縮番号の内容を変更したことを記録制御する記録制御手段(33)と、相手先番号が誤っていることと変更後のダイヤルデータを表示制御する表示制御手段(34)を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、相手先番号誤り時の通知、削除、または変更を行うファクシミリ装置に関する。ファクシミリ装置においては、オペレーション部によりダイヤル入力を行い、主制御部を介して通信制御部でダイヤルを開始するが、このダイヤルを行う際に、誤った番号にかけてしまうことがある。

【0002】このため、相手先番号が誤っていたことを記録部に出力または表示部に表示し、また、短縮番号がメモリ部に登録されている場合には、短縮番号に対応す

るダイヤルデータを削除または変更する必要がある。

【0003】

【従来の技術】従来のファクシミリ装置としては、例えば図12に示すようなものがある。図12に示すように、従来のファクシミリ装置においては、オペレーション部1により宛先番号のダイヤル入力を行うが、短縮番号を利用してダイヤル入力するときは、予め相手先のファクシミリ番号を登録しておく必要がある。すなわち、オペレーション部1より登録する短縮番号に対応する相手の宛先番号を入力し、短縮番号に対応した宛先番号を宛先番号記憶部2に記憶しておく。

【0004】原稿を送信するときは、オペレータは原稿を読み取部3にセットし、オペレーション部1より短縮番号を入力すると、短縮番号は表示部4に表示され、表示を確認して、スタートの操作を行う。宛先番号検索部5により宛先番号記憶部2から宛先番号を検索し、宛先番号があると、宛先番号は主制御部6を介して通信制御部10に送られ、通信制御部10は宛先番号により受信局を呼び出し、受信局の応答により回線7を接続する。

【0005】一方、セットされた原稿は、主制御部6の制御により読み取部3で読み取られ、画データは圧縮部15で圧縮された後にメモリ制御部8によって画データメモリ部9に格納される。回線7が接続されたら、メモリ制御部8の制御により画データメモリ部9から画データを出力し、通信制御部10の制御によりモデム部11で変調し、回線制御部12から受信局に向けて回線7に送り出す。

【0006】受信局では受信した画データを伸長部13で伸張し、記録部14で記録紙に記録する。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のファクシミリ装置にあっては、ダイヤルを行った相手先が誤っていることを検出した際、ダイヤルを行った側に相手先が誤りであることを通知するようになっていなかった。誤りであることを知らないために、何度も誤った番号にかけてしまうことになる。

【0008】したがって、誤ったダイヤルを何度も行うために、相手に迷惑を掛けたり、また、送信したい書類を送信することができなかつた。その結果、信頼性が低下するという問題点があった。本発明は、このような従来の問題点に鑑みてなされたものであって、信頼性向上させることを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】図1(A)は第1発明の原理説明図である。図1(A)において、1はデータの入力および表示を行うオペレーション部、10は通信制御を行う通信制御部、14はデータの記録を行う記録部、17は相手先番号が誤っていることを検出する検出手段、18は相手先番号が誤っていることを記録制御する記録制御手段、19は相手先番号が誤っていることを

表示制御する表示制御手段である。

【0010】次に、図1 (B) は第2発明の原理説明図である。図1 (B) において、1はデータの入力および表示を行うオペレーション部、10は通信制御を行う通信制御部、14はデータの記録を行う記録部、2は短縮番号に対応するダイヤルデータを記憶しておくメモリ部、21は短縮番号によるダイヤル入力したとき、相手先番号が誤っていることを検出する検出手段、22は前記メモリ部2に記憶されている誤りのダイヤルデータを削除する削除手段、23は削除したことを示すデータを前記メモリ部2にセットする設定手段、24は相手先番号が誤りであることを削除したことを記録制御する記録制御手段、25は相手先番号が誤りであることを削除了ことを示すデータを表示制御する表示制御手段である。

【0011】次に、図1 (C) は第3発明の原理説明図である。図1 (C) において、1はデータの入力および表示を行うオペレーション部、10は通信制御を行う通信制御部、14はデータの記録を行う記録部、2は短縮番号に対応するダイヤルデータを記憶しておくメモリ部、31は短縮番号によるダイヤル入力でISDN回線を使用したとき、相手先番号の変更を判別する判別手段、32は前記メモリ部2に記憶されている誤りのダイヤルデータを変更する変更手段、33は相手先番号が誤っていることと短縮番号の内容を変更したことを記録制御する記録制御手段、34は相手先番号が誤っていることと変更後のダイヤルデータを表示制御する表示制御手段である。

【0012】

【作用】第1発明においては、相手先番号が誤っているときは、これを検出し、誤りであることを出力または表示するようにしたため、再び誤った相手先番号にダイヤルすることや送ったと思っていた書類が未送信になることを防止することができる。その結果、装置の信頼性を向上させることができる。

【0013】また、第2発明においては、短縮番号でダイヤル入力するとき相手先番号が誤っているときは、これを検出し、短縮番号に対応するダイヤルデータをメモリ部から削除し、削除したことを示すデータをセットして、誤っていることと削除したことを出力または表示するようにしたため、再び誤った相手先番号にダイヤルすることや送ったと思っていた書類が未送信になることを防止することができ、さらに、短縮番号の誤りを自動的に削除するので、ユーザの負担を軽減することができる。その結果、装置の信頼性を向上させることができる。

【0014】また、第3発明においては、ISDN回線を使用するとき、相手先番号が誤っているときは、変更番号を判別し、短縮番号に対応するダイヤルデータを変更し、誤っていることと変更したことを出力または表示

するようにしたため、再び誤った相手先番号にダイヤルすることや送ったと思っていた書類が未送信になることを防止することができ、さらに、短縮番号の登録変更を自動的にするので、ユーザの負担を軽減することができる。その結果、装置の信頼性を向上させることができる。

【0015】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図2および図3は本発明の第1実施例を示す図である。まず、構成を説明すると、図2において、3は画データを読み取る読み取部、14は画データを記録する記録部、15は画データを圧縮する圧縮部、13は画データを伸長する伸長部、9は画データを記憶する画データメモリ部、8は画データメモリ部9を制御するメモリ制御部、12は回線7の制御を行う回線制御部、11はデータの復変調を行うモデム部、10は通信制御を行う通信制御部、1はデータの入力を行うオペレーション部、4はオペレーション部1内に設けられデータの表示を行う表示部、6は各部の制御を行う主制御部である。

【0016】17は通信制御部10内に設けられた検出手段としての検出部であり、検出部17は相手側で受信器をフックオフ後すぐにフックオンを行うことで送られてくる信号により、相手先番号が誤りであることを検出する。検出部17は主制御部6を介して相手先番号が誤りであることを記録制御部(記録制御手段)18および表示制御部(表示制御手段)19に通知する。

【0017】記録制御部18は、検出部17からの通知により相手先番号が誤りであることを記録出力するように記録部14を制御する。表示制御部19は、検出部17からの通知により、相手先番号が誤りであることを表示するように表示部4を制御する。次に、動作を説明する。

【0018】図3は本発明の第1実施例の動作を説明するフローチャートである。図3において、まず、ステップS1でオペレーション部1によりダイヤルデータの入力を行い、主制御部6を介して通信制御部10でダイヤルを開始する。ダイヤルした相手先番号が誤りである場合には、ステップS2で通信制御部10の検出部17により相手先番号が誤っていることを検出する。

【0019】検出部17は、相手先番号が誤っていることを主制御部6を介して記録制御部18および表示制御部19に通知する。次に、ステップS3で記録制御部18の制御により、記録部14は相手先番号が誤っていることを記録出力する。また、ステップS4で表示制御部19の制御により表示部4は相手先番号が誤っていることを表示する。

【0020】このように、ダイヤルデータを入力した相手先番号が誤っていることを出力したり、表示することにより、再び誤って相手先にダイヤルすることや、送ったと思っていた書類が未送信になることを防止すること

ができる。その結果、装置の信頼性を向上させることができる。次に、図4～図7は本発明の第2実施例を示す図である。

【0021】図4は通常の電話回線を利用するファクシミリ装置(G3)を示す。なお、第1実施例で説明した構成部分については説明を省略する。図4において、2はメモリ部であり、メモリ部2内には短縮番号に対応したダイヤルデータが記憶されている。5は検索部であり、検索部5はオペレーション部1から短縮番号が入力すると、その短縮番号に対応したダイヤルデータがメモリ部2内に記憶されているか検索を行う。

【0022】21は通信制御部10内に設けられた検索手段としての検出部であり、検出部21は、相手先番号が誤っているとき、これを検出する。22は削除手段としての削除部であり、削除部22は検出部21からの誤りであることの通知に基づいてメモリ部2内に記憶されている誤っているダイヤルデータを削除する。

【0023】23は設定手段としての設定部であり、設定部23は削除したことを示すデータをメモリ部2にセットする。24は記録制御手段としての記録制御部であり、記録制御部24は相手先番号が誤りであることと、短縮番号を削除したことを記録するように、記録部14を制御する。

【0024】25は表示制御手段としての表示制御部であり、表示制御部25は相手先番号が誤りであることと、削除したことを示すデータを表示するように表示部4を制御する。次に、動作を説明する。図5は本第2実施例の動作を説明するフローチャートである。

【0025】図5において、まず、ステップS11で予め短縮番号、例えば001に、例えば「044-777-1111」をセットしておく。次に、ステップS12で原稿を読取部3にセットし、オペレーション部1の短縮番号001を押下する。この短縮番号のダイヤルデータが誤っている場合には、ステップS13で相手先番号が誤っていることを検出部21で検出する。

【0026】この場合には、ステップS14でメモリ部2より短縮番号001に対応するダイヤルデータを削除し、ステップS15で削除したことを示す「*」印をメモリ部2にセットする。そして、ステップS16で記録制御部24の制御により記録部14で図6に示す削除通知を出力する。次に、ステップS17で再び短縮番号001を押下すると、ステップS18で図7に示す表示が表示部4で行われる。

【0027】したがって、再び誤った相手先にダイヤルすることや送ったと思っていた書類が未送信になることを防止することができ、さらに、短縮番号の登録誤りを自動的に削除するので、ユーザの負担を軽減することができる。その結果、装置の信頼性を向上させることができる。次に、図8～図11は本発明の第2実施例を示す図である。

【0028】図8はISDN回線を利用するG4のファクシミリ装置を示す。なお、第1実施例で説明した構成部分については説明を省略する。図8において、2はメモリ部であり、メモリ部2内には短縮番号に対応したダイヤルデータが記憶されている。5は検索部であり、検索部5はオペレーション部1から短縮番号が入力すると、その短縮番号に対応したダイヤルデータがメモリ部2内に記憶されているか検索を行う。

【0029】31は通信制御部10内に設けられた判別手段としての判別部であり、判別部31は、相手先番号が誤りで交換機より変更番号が送られてきたとき、その変更番号を判別する。32は変更手段としての変更部であり、変更部32はメモリ部2に記憶されている誤りのダイヤルデータを判別部31で判別した番号に変更する。

【0030】33は記録制御手段としての記録制御部であり、記録制御部33は相手先番号が誤っていることと、短縮番号に対応するダイヤルデータを変更したことを記録するように、記録部14を制御する。34は表示制御手段としての表示制御部であり、表示制御部34は相手先番号が誤っていることと、変更後のダイヤルデータを表示するように、表示部4を制御する。

【0031】次に、動作を説明する。図9は本第3実施例の動作を説明するフローチャートである。図9において、まず、ステップS21で予め短縮番号、例えば001にダイヤルデータとして、例えば「044-777-1111」をセットしておく。次に、ステップS22で原稿を読取部3にセットし、ISDN回線を利用してオペレーション部1の短縮番号001を押下する。

【0032】相手先番号が誤っている場合に、交換機より変更番号、例えば「044-777-2222」が送られてくると、ステップS23で判別部31で変更番号を判別する。次に、ステップS24で変更部32によりメモリ部2に記憶されている短縮番号001に対応するダイヤルデータ「044-777-1111」を変更されたダイヤルデータ、例えば「044-777-2222」に変更する。

【0033】そして、ステップS25で記録制御部33の制御により図10に示すような変更通知を記録部14で出力する。次に、ステップS26で再び短縮番号001を押下すると、ステップS27で図11に示すような表示が表示部4で行われる。したがって、再び誤った相手先にダイヤルすることや、送ったと思っていた書類が未送信になることを防止することができ、さらに、短縮番号の変更を自動的に行うので、ユーザの負担を軽減することができる。

【0034】その結果、装置の信頼性を向上させることができる。

【0035】

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明によれ

ば、相手先番号が誤っているときは、これを検出し、誤りであることを出力または表示するようにしたため、再び誤った相手先にダイヤルすることや送ったと思った書類が未送信になることを防止することができる。

【0036】また、短縮番号の登録の誤りを自動的に削除し、短縮番号の変更を自動的に行うことができるため、ユーザの負担を軽減することができる。その結果、装置の信頼性を向上させることができる。

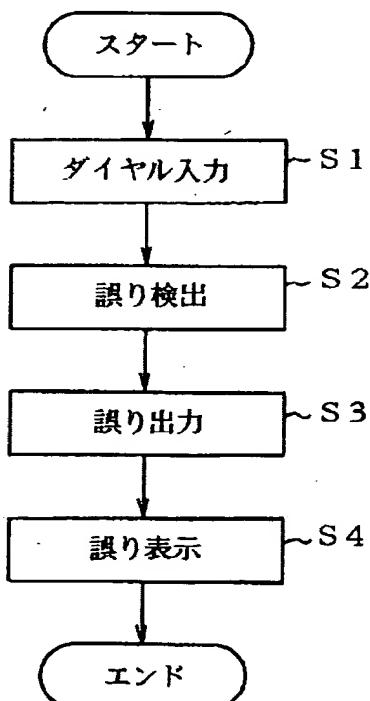
【図面の簡単な説明】

- 【図1】本発明の原理説明図
- 【図2】本発明の第1実施例を示す図
- 【図3】動作を説明するフローチャート
- 【図4】本発明の第2実施例を示す図
- 【図5】動作を説明するフローチャート
- 【図6】削除通知の出力例を示す図
- 【図7】削除の表示例を示す図
- 【図8】本発明の第3実施例を示す図
- 【図9】動作を説明するフローチャート
- 【図10】変更通知の出力例を示す図
- 【図11】変更の表示例を示す図
- 【図12】従来例を示す図
- 【符号の説明】

- * 1 : オペレーション部
- 2 : メモリ部
- 3 : 読取部
- 4 : 表示部
- 5 : 検索部
- 6 : 主制御部
- 7 : 回線
- 8 : メモリ制御部
- 9 : 画データメモリ部
- 10 10 : 通信制御部
- 11 11 : モデム部
- 12 12 : 回線制御部
- 13 13 : 伸長部
- 14 14 : 記録部
- 15 15 : 圧縮部
- 17, 21 17, 21 : 検出部 (検出手段)
- 18, 24, 33 18, 24, 33 : 記録制御部 (記録制御手段)
- 19, 25, 34 19, 25, 34 : 表示制御部 (表示制御手段)
- 22 22 : 削除部 (削除手段)
- 20 23 23 : 設定部 (設定手段)
- 31 31 : 判別部 (判別手段)
- * 32 32 : 変更部 (変更手段)

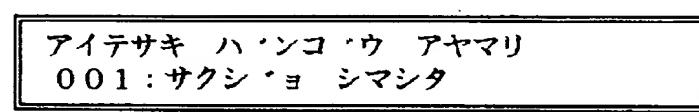
【図3】

動作を説明するフローチャート



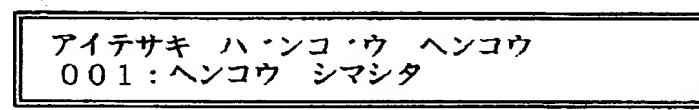
【図7】

削除の表示例を示す図



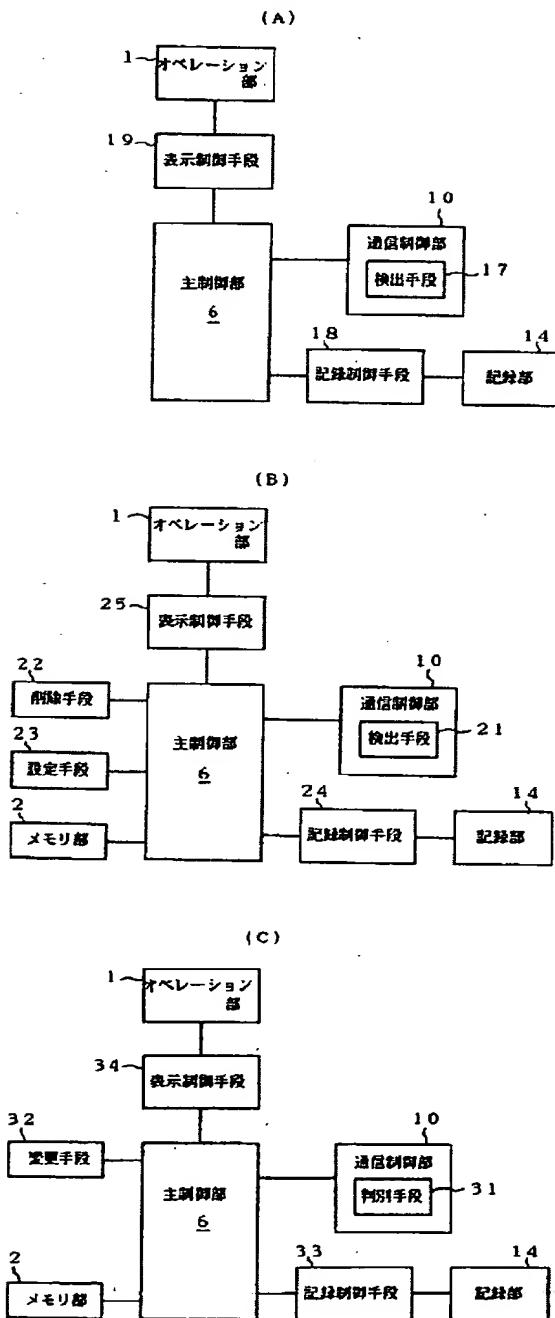
【図11】

変更の表示例を示す図

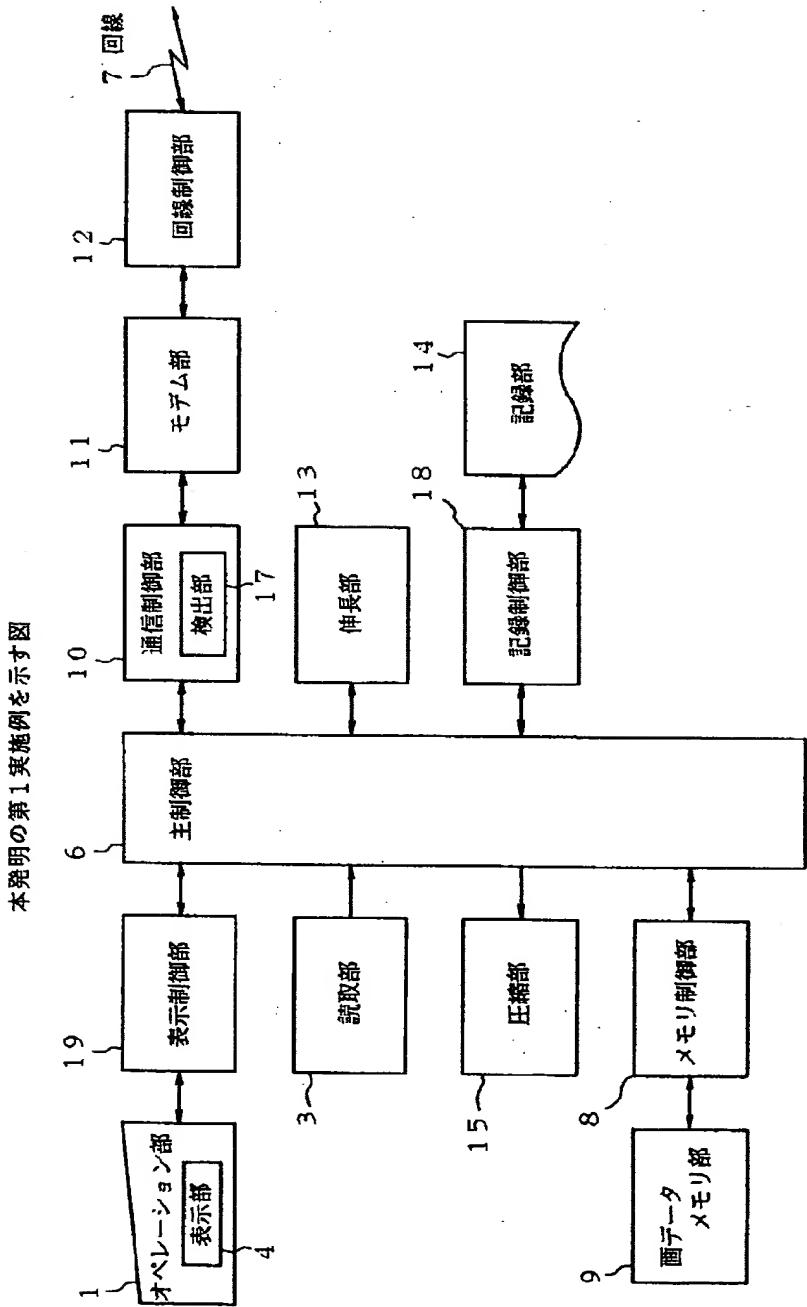


【図1】

本発明の構成説明図

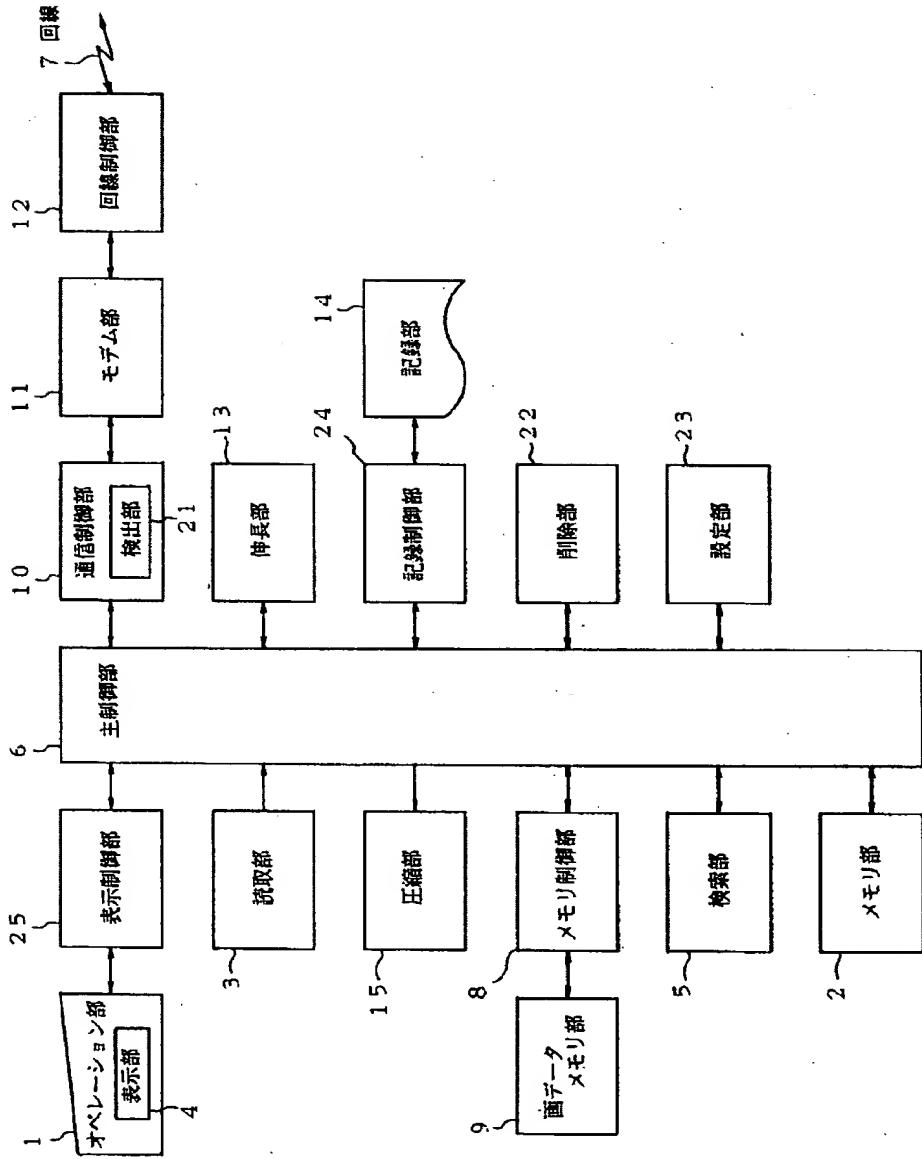


【図2】



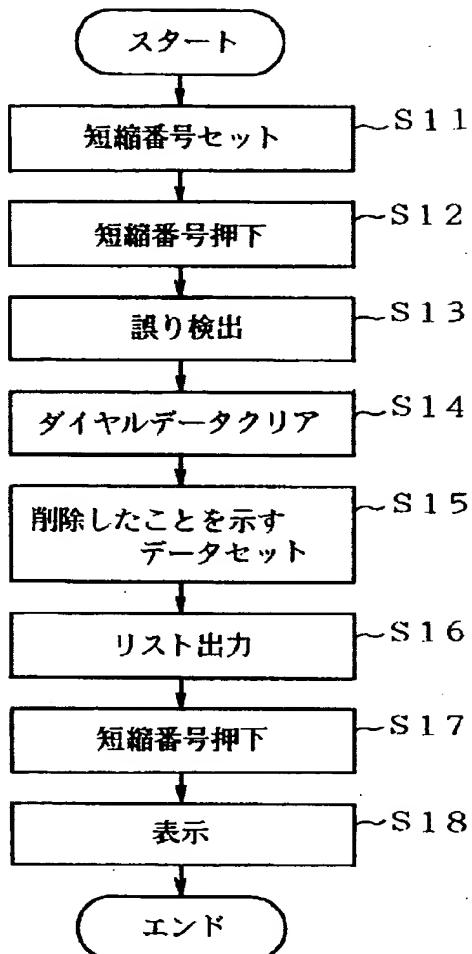
【図4】

本発明の第2実施例を示す図



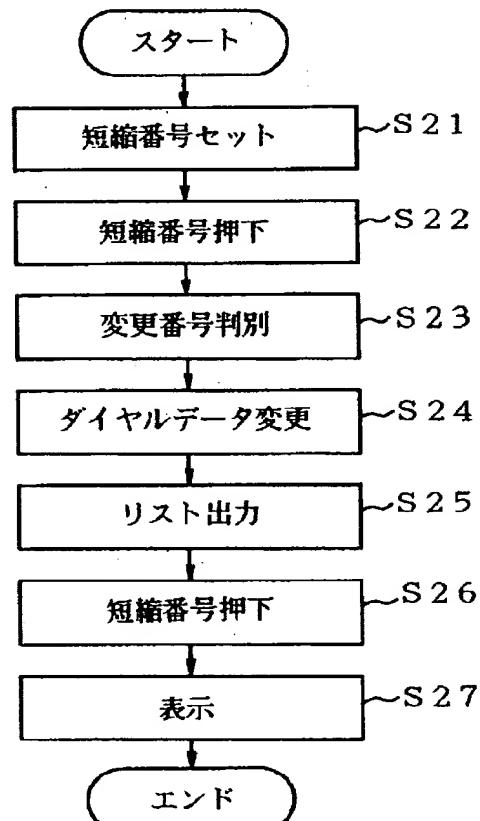
【図5】

動作を説明するフローチャート



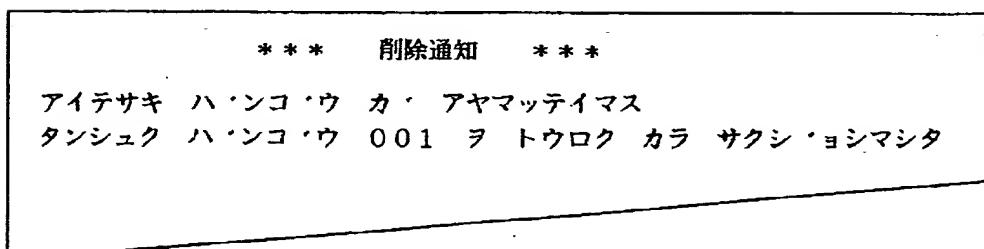
【図9】

動作を説明するフローチャート

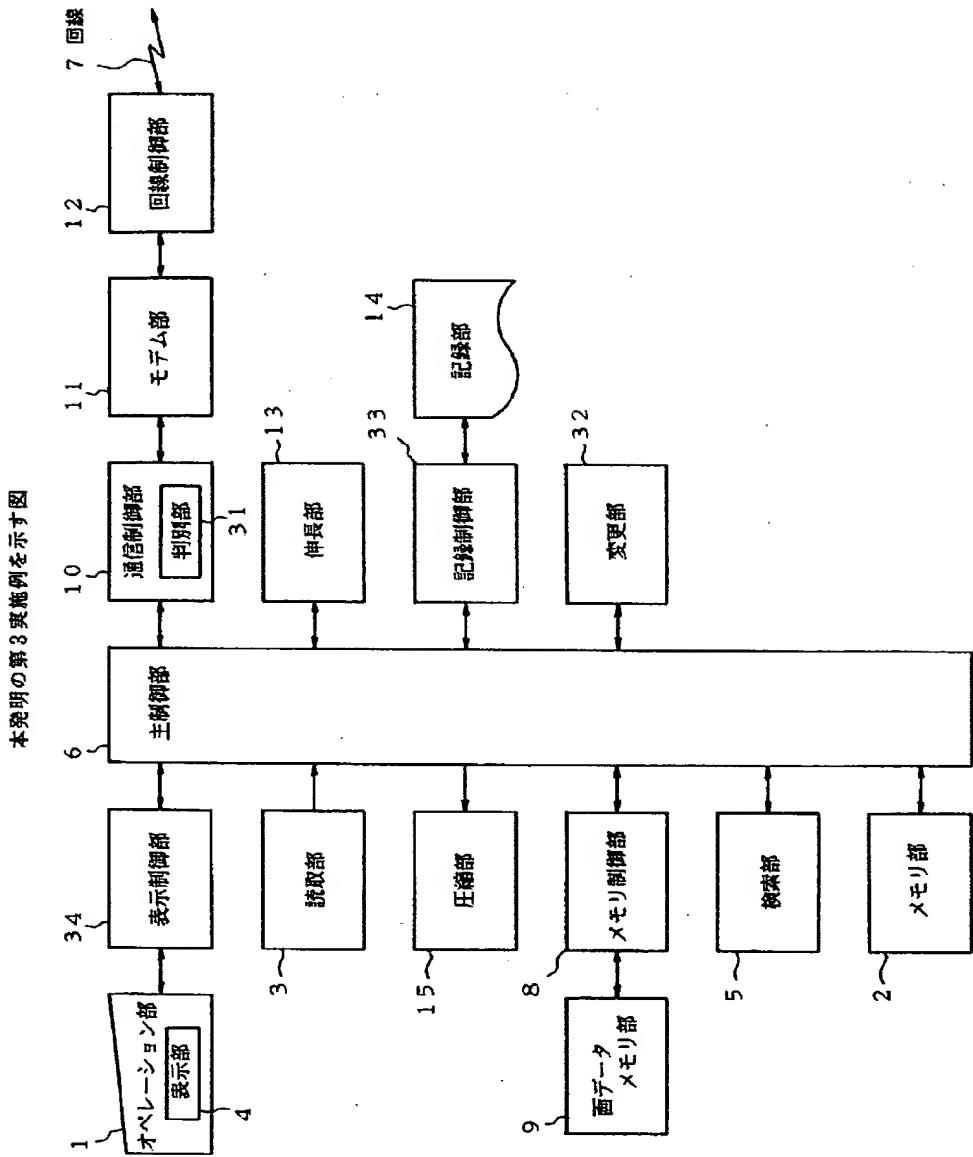


【図6】

削除通知の出力例を示す図



【図8】



【図10】

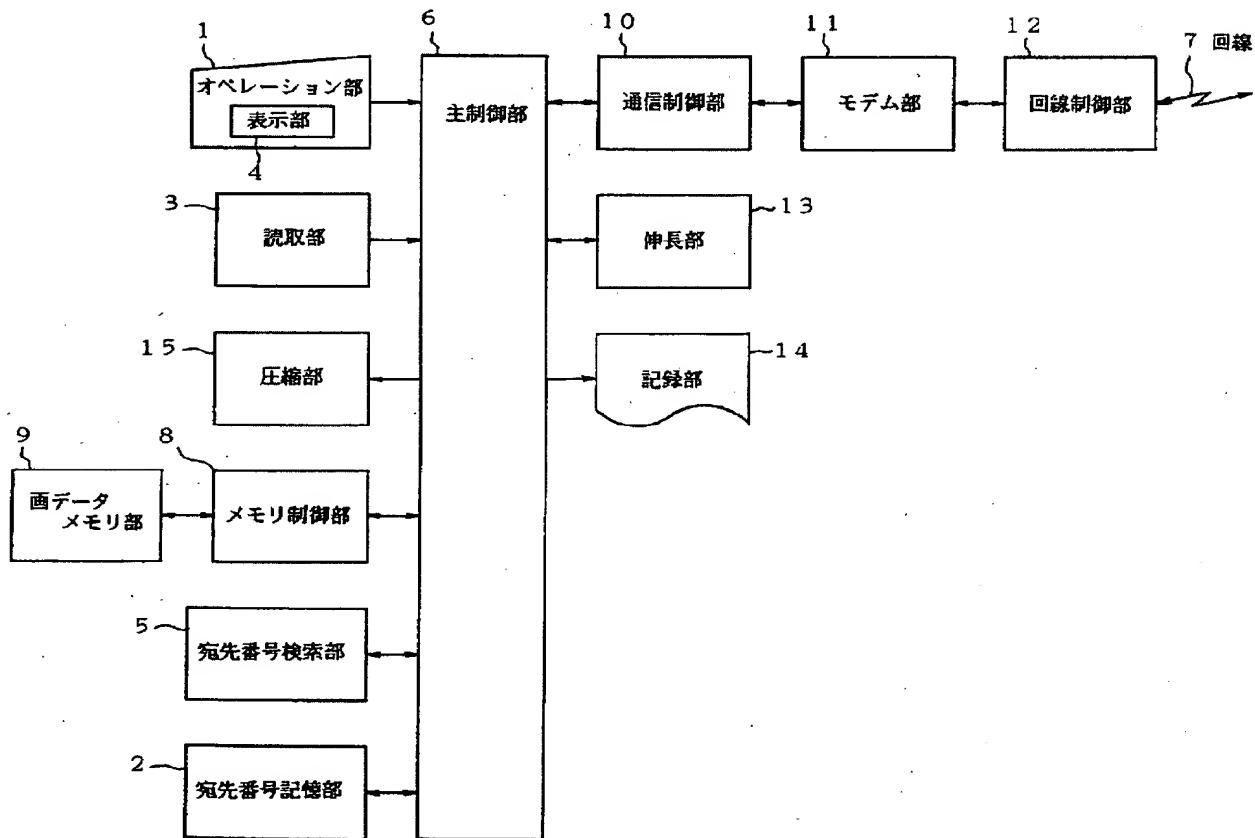
変更通知の出力例を示す図

*** 変更通知 ***

アイテサキ ハンコ・ウ カ・ヘンコウ ニ ナリマシタ
044-777-2222 ニ ヘンコウ シマシタ

【図12】

従来例を示す図



フロントページの続き

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.